

どのような学びがあったか

- 食品ロスが増えている一方だという現状、地球温暖化が進みつつあり、100年後には5,7度地球の温度が上がっているということ、など自分たちが今危険にさらされていることを改めて知ることができた
- 食品ロスについて自分が知らない新たな問題もあり、学びを深めることができた。例えば、フードドライブなどという新しいワードを聞いてフードドライブに寄付をしてみたいと思うことができた。
- 食品ロスは社会全体の問題のため私達若者だけでなくしっかりと幅広い世代に呼びかけていくことが大切だと思いました。
- 食品ロスでは、自分たちにできることだけでなく、世界全体を客観的にみて、今現在の状況を具体的にわかりやすく説明していました。
- ドギーバッグの常備義務化の案は良いと思ったが、区営の工場を設立、維持するための費用やその際に出るCO₂について気になった。去年からは想像もできないような結果になった。去年は一番下の学年としてサポートされる側だったが、一番上の学年として引っ張っていく側になったことで責任感が養われた。
- 色々なことを学んだ。平和は「戦争がないのが平和」ではなく、平等でみんなが過ごしやすく、楽しく過ごせることが「平和」なんだと知った。そして、スライドなど発表の仕方なども学んだ。
- 前半の発表の感想のところにも書いたとおり、今までは、どちらかという知識を提供してくれるような発表だったが、今回はさらにそこから一步踏みこんだ、その発表者の考え方や、実行したことをしれたことが、非常に嬉しく思う。
- 1100学級のシビックアクション。クイズ式で面白かったし、学びが深まった
- 色々な工夫をして聞いている人の興味を引く方法をしれた。それは、前半1100学級でやっていた食品ロスの豆知識～Rokutube～などは最後に問題を出したりと、楽しんで学ぶ工夫があった。そして、食品ロスを防ぐために賞味期限は多少の日数過ぎても食べられるなどの生活に役立つことを学んだ。
- 多くのアクションを見学して、それぞれの考えや意見を知ることができて、学びが深まった。
- クイズ形式のところが一番印象に残った。
- 一番印象に残ったのは赤澤くんの班で今からでもできる温暖化対策が自分のためにもなってよかった。
- みんな、アクションの他にもそれに関連することも調べ発表していてよかった。
- 食品ロスについて考えが深まった
- 自分とは違う考え方が得られたと思ったし色々な人の発表を聞いてよかったです。
- 一番チームの質が悪かったところは1年生だけ目立っており、2年生の一人は端っこにいたからまとまってほしいと思ったけど、他のチームは説明とスライドの質が良かったからとても勉強になった
- 平和のほんとうの意味を知った
- いままで最初に比べるとアクションの内容が結構変わったと感じた。発表自体もとてもそれぞれ実際に行動していてすごいと思った。3つの問題以外にも様々な社会問題があるけれどなるべく興味を持つことが大事とわかりました
- 各々が地球の問題について真剣に向き合っていることが分かる発表だった。
- 私達は微力かもしれないけれど呼びかけることなどで周りにも意識させることができ問題解

決に繋がっていけば行くと思った。

- どのグループも対策がないと生活が困難になってしまうような危険な問題だから、全ての問題の現場を知ってその問題についての理解を深めることが大事だなと思った。
- 食品ロスや気候変動についての現状やそれに対する解決策について分かった。
- 想定外のことに対処するときの対応力や冷静さがとても大事だとわかった。また、食品ロスなどの問題について更に深く知ることができた。
- 色々な発表を聞いて今の現状とこれからどのようなことを意識して生活していけば色々な問題を解決できるか知ることが出来た。
- 自分のチームの提案に対して、具体的にさらにどのようなことをすればアクションを実行できるのかを教えてもらえ、すごく勉強になった。平和問題についてもあまり深くは知らなかったけれど今回の学習成果発表会を通して学ぶことができた。
- 学習成果発表会を通して、他のグループからの発表を聞き自分が調べたことを含めて食品ロス、気候変動、平和問題について知り、考え、深めることができた。
- 問題を解決するにはやはり人との助け合いが必要だと思いました。
- 一年間に 300 億枚のビニール袋が使用されている事実に驚いた。これから先の未来のためにもこの 300 億枚という数字をどれだけ減らしていけるかが重要なことだと思った。
- 色々な人を巻き込むことが大切だけど、やはり一人ひとりの行動が大切だと思った。
- 訴えかける発表の仕方、提案するときの発表の仕方。
- 全班スライドやクイズなどといったやり方で楽しみながらも知識が増え、よりよい学習成果発表会ができたと思います。
- 学びが深まった
- 体育館での発表を聞いて、平和問題、気候変動、食品ロス問題についての学びを深めることができてよかった。また、三年生の発表で、私達は次三年生になるので修学旅行のことや、行事などの話が聞けてよかった。2200 学級の発表を見て平和問題について楽しく学ぶことができた。
- 一番印象に残った班は食ロス知識王の班だった。楽しく、そして印象に残る発表だったと思う。今回の発表で食品ロスについて更に詳しくなれたと思う。食ロス知識王の発表では聞いたことのない情報もあって凄く良い学びになった。一人ではできなかったアクションもそれぞれの班で協力して、アクションを成功させていたので良かった。
- 他の班の人のものを見て、ストーリー性だけでなくその時その時の楽しませる力がある方がいいと思った。シビックアクションは小さいことだとあまり意味を感じないので大人数（6~8 人くらい）で大きなことをやる方が良かった。
- 中学生活でみんなたくさんの体験しているということが分かった
- 普段現状を調べるだけになりがちだが、今回アクションを実行されている 1, 2 年生を見て自分も行動しようと思った。
- クイズ大会で、人数も想定していた時よりも多く新たに準備をしなければいけなかったが臨機応変に対応できた。
- 学年を超えて話し合うことで多種多様な意見交換ができた。前半の発表のクイズ大会がすごく楽しかったです。特別難しくも簡単すぎでもなくて楽しかったです。
- 今までに学んできたことを総復習できた。特に、平和系の内容に興味があったので、深く知れてよかった。
- 自分の伝えたいことは、行動を起こすことによってとてもわかり易くなる

- 特に気候について印象に残った。自分にできることから行い、どんどん活動をひろげていきたい。持続可能な社会を作っていきたい。
- 最高学年として1,2年生で学んだことを思い出しながら3年間の歩みを振り返り、これからするべきことを考えることができた。どんなことも自分事として捉えて行動していこうと思った。
- 自ら自主的に取り組む姿勢を取れそして大森第六中学校の一人として環境問題に積極的に取り組めた一年だと私は思った、、、更に考えを深めるのであれば活動範囲を少し広げるのも良いと思う
- 人の意見をしっかりと取り入れることで素晴らしい考えが思いつくことが分かった
- いろいろなアクションがあり、中学生も大人の仲間なんだなと感じた。
- SDGsは身近なことから対策ができることがわかった。三年間の学びを振り返ることができた。
- 場所によって解決策が違ったため、新しい視点で物事を捉えられるようになったと思う。学びが深まった。
- 特活室に来てくれた人がすっごく楽しそうで良かったです!!生徒の人も班で協力していい雰囲気でした!正直こんなに盛り上がると思ってなかったんでなんか、いろんな人が楽しそうに舞い上がりました。♪笑 初刈刈が全てヨシ(๑•̀ㅂ•́)♪
- 後半の世界の今を救うには?という発表が一番印象に残りました。
- 学びが深まった
- よく考えてつくることができた
- 平和問題や食品ロス問題、気候変動問題は一人の力で解決できるものではなく、一人ひとりが意識を持ち、いかに多くの人を巻き込むかが重要だとわかった。前半の2400クラスの発表で今の問題の現状を本を通じて知ることが重要だと知り、自分も積極的に図書館や、図書室へ足を運ぼうと思った。
- 初めての行動で、みんなを巻き込むことがこんなにも難しいことだと知った
- 縦割り班での活動はかなり難しく、与えられた1コマを上手く活用できないときもあった。だが、自分の意見と他の人の意見、班の発表を照らし合わせてどこが良かったか、また、どこが上手く行ったかを考えることができてよかった。
- 他学年や他グループの発表を見て、今年度を振り返る事ができ、スライドや発表のテクニックも学ぶ事ができた。シビックアクションの他グループの発表を見て、他のグループの取り組みについて知る事ができた。自分達も発表を通して、色々な方からアドバイスをいただけたので、今後の活動の参考にもなった。
- 自分が関心のある社会問題について、なにかアクションをしてみたいという気持ちが強くなり、いろんなアクション・解決策が思いつくようになった。人と協力して社会に働きかけるようなアクションを、前よりも重要だと思うようになった。自分は、人と協力して社会に働きかけるようなアクションを実行できるんだという気持ちが強くなった。
- 私が特に印象に残ったのは食品ロスの班の発表だ。現在の食品ロス量は東京ドーム五個分らしい、それを聞いてとても驚いた。これからはなるべくご飯を残さないよう心がけようと思った。
- みんな見に来ている人を楽しませれるように工夫していた。楽しく学ぶことができたし良い時間になったと思う
- 気候変動は深刻な問題
- 様々なことについて理解を深めることができた
- それを知るものは、それを楽しむ者に如かず。
- 日常の便利なライフハックがしれたこと

- フードロスと平和問題について深く学ぶことができました。フードバンクやドギーバックなどアクションが考えられて有益なものでした。
- 一番心に残ったのは、アプリ開発の気候変動グループの発表で、このグループはデータを計算し、数値化することでよりわかりやすくして良いと思った。そのため、これからまた発表をすることになったら、数値化をしてよりわかりやすくしたいと思った。
- 気候変動について詳しく知れた。知らなかったことも知れた。名前しか知らなかったものとも詳しく知れた。そしてアクションが一層重要だと思った
- 一番印象に残ったのは中半に行ったクイズ大会で地域の方と同じ班になり、すこし不安の気持ちがあったがとても優しく楽しく学ぶことができた。小さい子供も環境のことを頑張ってくれて嬉しかった
- 皆とても詳しく、良い発表だった。ただ問題点を調べるだけでなく、図書館に pop を置いたり実際にスーパーに提案したりなど行動をしたことが一番良かったと思う。労力にかかるけれど、状況に応じて縮小、拡大しつつ続けていってほしいと思った。
- エコバックづくりが一番印象的だった。その理由は、地球温暖化が少し身近に感じられない人もいると思うけれど自分で作ることによって感じられたからだ。
- 色々なチームで何をやっていたかがわかった。
- 去年よりさらに視野を広げて考えることができて、とても良い経験になったと思う。僕の班では大田区の方々も来てくれて、自分の考えを共有する事ができた。問題を完全になくすのは、不可能に近いため食品ロスを極限まで減らすという考えを尊重したい。
- 日本の食品ロスの量が、世界で援助するために支給された食品のおよそ二倍の量があることなど、問題の具体的な数値などを学べた。
- アクションを起こすには、多くの人を巻き込むことと、自らが積極的に参加すること
- 誰かに任せたり誰かにやらせようと思ひ、自分では動かないことは良くないことだと思ひました。自分から率先をしてやっていかないと行けない。自分から始めて誰かを巻き込むことでどんどん大きくなっていっているものだと思ひました
- 今世界で問題になっている問題になっていることについて面と向かって考えることができた。
- 班のみんなと協力する大切さや、スライドでの発表をどのようにすれば見やすくなるかなど、ほかの班をみて学べた。
- 聞いたことあるようなことばかり、だったが面白くしようとする努力が感じられた
- 自分が考えているものを相手に伝える難しさを学んだ。
- 日本に限らず、世界の問題について深く学べる事ができた
- それぞれいろんな問題があったんですが全員がこの問題を知っているかわかんないので自分たちがこの三年間で得たものをきっかけに沢山の人に広げていきたいと思ひました
- 今までただの知識であったものが実際の行動になっていて、どの発表も興味深かったです。また今までの3年間の学びを振り返ることができました。
- 食品ロスをする则自分たちの食べるものがどんどんなくなっていくので、食品ロスをしないようにしようと思ひた
- 一人では解決できない問題も力を合わせれば解決できるということ、また行動することの大切さを学べました。
- 自分が一番印象に残った班は 1100 学級の後半の前半の班が一番良くできていたし、面白かったです。理由としては発表者が食品ロスのキャラクターになり、発表していたからです。
- それぞれの問題に色んな解決法があると学んだ。

- 後半の特活、今の人類には様々な課題がありそれは一人ひとりの意識で変えるものだとわかった。
- 一人の力ではなにもできないという学びがあった。
- 総合的な学習の時間の、2、3年生の発表で来年、再来年が楽しみになった。また、自分も先輩方のようになりたいと感じた。
- 三年生の総合的な学習の発表で、様々なことが紹介されていて、来年が楽しみになった。また、シビックアクションの他のグループや、全体での発表を見て、人を引き付ける工夫がたくさんされていて、自分にも活かしてみたいと思った。
- 他のグループの班の発表を聞いたあとに自分の班と比較し、スライドのまとめ方や表現の工夫を学べたなど感じました。
- 同じ問題（食品ロス）について考えている人の発表を聞いたのですが、同じ問題でも提案内容がぜんぜん違うので面白かったです。
- 持続可能な未来を作るためには、私たちの小さな行動が大切だと気づくことができた。
- どのように行動に移すかなど学ぶことができた
- 音楽室の発表。スライドがすごかった
- 一番印象が大きかったのは前半の前半でやっていた班で、呼びかけをしたりクイズをしたりなど工夫がされていてよかった。本日は食ロスについての学びが大きく今どんな事が起きているか、どんな対策を取ればいいのか自分たちの班で出した意見とは違う意見など色々な視点から食ロスについて学べた。
- クイズや動画などを用いて、楽しみながら、自分では知らない知識を沢山身につけることができた。また、物事を多面的に考えられるようになった。
- 気候変動などの一つの問題を解決するのに、企業などの取り組みや、本の展示、アプリ開発など色々なアプローチのやり方があるのだと気づけたし、アプローチの数を増やしていけばいくほど気候変動や平和問題、食ロスが解決していくのではないかと思いました。
- 世界平和を実現するには、一人ひとりの考え方を変える必要があるとわかった
- 自分は前半も後半も手伝い係をして、前半もその準備でとくに他の班の見学はしなかったけれど、中後半の発表を通して環境に対しての見方を改めて考えることができた。
- 3年生の代表者の発表の際に、みんなで立って避難時の運動不足解消のための運動を行ったことが一番印象に残っている。もちろん、シビックアクションの発表も良かったが、3年生のプレゼンの能力に驚かされるとともにこれだけ大勢の人を巻き込んで発表できるということに驚いた。みんなを巻き込む方法は、これから僕たちに必要なことだと思った。
- 1100学級・前半のグループの発表が印象に残っています。ゲームのような感覚で入り込んでいけるような発表の設計になってとても楽しかったです。同じテーマということで知っていることも多かったのですが、将来の発表の参考になることがとても多かったと思います。
- 実際に問題を解決するためにどうすればいいか具体的な方法を聞くことで、コストが掛からない方法や、自分たちがやりやすい方法を取ることが大切だと思った。今回1,2年生が行ったようにどんどん行動を起こしていかなければいけないと感じた。
- 大田区がSDGs未来都市として認定されていることなど
- どの班も色々なことを考えやっていた
- 世界が抱えてる問題の重大さ
- 森先生のありがたいお言葉が心に刺さりました。また、前半に発表だったから、後半の発表が見れず、残念だった。もう少し長い時間を取って欲しいと思いました。

- 今世界に突きつけられている大きな問題達について、しっかり実感を持って考えられるようになった
- 発表を聞くと新しく知ったことがいくつもあった。今まで「風力発電」や「太陽光発電」など有名なものしかほとんど知らなかったが、発表を聞いて聞いたこともない発電方法を知ることができた。中半の後半の発表がそれに当てはまる。一つ一つの行動や発電のメリットが分かった。
- 行動を起こすには誰に何を伝えるかを考えなければならないのでとても難しいことだけど、みんながしっかり考えることができていたのでとてもすごかった。これからはそのアイデアをアクションに繋げられるように努力していくことが大事だし、僕もアクションを起こしていきたいと思った。
- 食品ロスメインに聞いた結果、食品ロスの現状、様々な対策方法や食品ロス対策のマークなど、知らないことばかり知れてとてもよく知れた
- それぞれ個性がありとても良かった。
- 大田区の企業だけではなく、他の企業とも協力を仰ぐことをしたほうがいいと思う。
- 一人の力が何千何万も集まれば世界を変えられるほどの力になることがわかった
- 自分たちの発表に対して笑ってくれたのを見てもっと頑張ろうと思った。また発表を見て、それぞれのことを知れただけでなく発表の仕方なども学べた。
- まず最初の全体発表では、自分も舞台に立つ側として参加していたが、実技を伴う三年生の発表はとても面白く、さらに参考になった。眠くなりがちな舞台発表で、いかに人を楽しませるか、参考になった。また、リハーサルよりもマイクの位置が若干遠かった気がする。そのようなところも臨機応変に対応できてよかった。屋台発表で、平和を見学したが、とても手が込んでいて、その丁寧さは見習いたい。特活室で行ったクイズ大会とエコバッグづくりのイベントでは、様々なアクシデントがありながらも、みんなが楽しんでいたのも、全体的にはよかったかな、と思う。臨機応変に対応できることの重要さを学んだ
- 今回の発表をとおして、SDGsには色々な分野でやらないといけないことがあると学びました。
- 自分の知らない知識もあったし自分じゃ思いつかないような工夫があって面白かった
- 地域の方や保護者の方の意見をたくさんいただき、今後の活動の参考になった。また、他のグループや学年の発表を聞いて、様々な意見があると知ることができた。食品ロスや平和問題、気候変動のそれぞれを解決するアクションはたくさんあるのだと気づいた。
- 発表がうまくいなくて発表は来てくれてる人たちが引き込まれるような面白い発表になるように工夫しないといけないことがわかった。
- 全体的にいい案がたくさんあっていいと思った
- 自分は調べる段階で終わってしまい、実際に行動することはできなかったが、聞いたことで自分の担当だった平和についてより知ることができたし、他のところも知ることができた。
- 環境問題についての学び
- 失敗してなく完璧に終わらせることができた。
- それぞれの問題の深刻さについてわかった。
- 今回は1年生ということもあり、はじめは先輩に任せてしまうことが多かったが、依頼状を作ったり、それを出しに行ったりしてしっかりとアクションを成功させることができて、世界を変えるためにはこのようなアクションを続けていく必要があるということも学んだ。
- 2300 学級の後半の前半の班がみんなの様子をうかがいつつ発表していた
- 平和について考えるということは問題の重要性を認識する第一歩で、自分たちにもできるよう

な、身近な対策を考えるということが重要だということを今回のシビックアクションで学びました。

- みんながんばって具体的な対策を考えていてすごかった
- 食品ロスという1つのテーマの中にもグループによって様々な解決策が出ていたため多くの人が知恵を出し合えば問題解決に近づくということがわかった。
- 食品ロス、気候変動、平和問題の3つの発表すべてを見ることはできなかったが、それぞれの発表で多くの人が自分事として問題の対策を練っていて、私もできることからコツコツと取り組んでいき、持続可能な世界をつくっていきたいと思いました
- 平和問題は、一人一人が意識・行動していくことによって解決するのではないかと思ったので、僕も行動して、この世界がへいわになるといいと思った。
- いかに楽しく小さい頃からこういう物に触れたらいいかわかった。
- 自分が所属していた「平和」のチームだけでなく、どこの班もととても深刻で聞き入ってしまう発表も多々あり、いろいろ学ぶことができたので良かったです。
- 授業やネットで、世界の様々な問題を学んで行きましたが、普段とは違う形式での発表だったので新鮮で面白かったです。
- 海外派遣報告が印象に残っています。学校の授業内でも生徒が英語を話す機会はありますが、発表している生徒の英語がいい意味で、とても早口で、現地に行って成長したのだなと言うことを感じました。
- 来年新しい一年生とシビックアクションをするときに、どのような経験から何を教えればいいのかわかりました。
- シビックアクションを通して他学年と協力したりして自分のコミュニケーション能力が上がったと思った。また、イベントを開催する側はどうすればお客さんに楽しんでもらえるかなどを考えて「もっとこうすればいいんじゃないかな」かなど話し合うことができた。
- 環境問題・食品ロス・平和問題について様々なことを学ぶことが出来ました。クイズで分かりやすく学ぼうとしている発表が何個かあったのでいいと思います。
- 食品ロスのことについて色々知れました。
- 小さいことからでも、自分たちでアクションを起こせばきっと世界の何かに繋がる、ということがわかりました。
- まだまだ課題が多い
- 食品ロスの問題や、地球温暖化の問題などについて詳しく知れてよかった。
- いろんな環境問題を知れた。
- シビックアクションは継続的に続けていくことで効果が現れると思ったので、2年生もがんばりたい。
- 物事をいろいろな視点で見ることができた。この面から見たら良いけど、こっちからだとも良いことが少ないなどと、より完璧に近い状態になるように考えることができた。
- クイズや保護者の方とのディスカッションを通して、よりさまざまな意見、捉え方を学ぶことができたので良かったです。
- 食ロス・平和問題について詳しくそして楽しく知れた
- 食品ロス以外の発表などを聞いていろんなことが学べた。
- フードロスがどれほど深刻な問題かわかり日々の生活の中の行動を変えることで現状を変えることができるかもしれないことを学びました。
- 色々なところを見て回り、たくさんの解決策を様々な視点で気づくことができたので良かった

です。これからの生活で、今日学んだことを活用していきたいです。

- 最初の学習成果発表会では、スライドがとても良くて見やすくわかりやすかったので、自分が発表するときのスライド作りに活かしていこうと思った。自分の後半特活室で行ったエコバッグ作りのイベントでは、エコバッグが足りませんでした。生沼先生や、グループのみんなと話し合った意見によって逆に盛りあがってくれてとても嬉しかった。知識として知っていたことも勿論たくさんあったが、今回の授業で経験したことによって、アクションを行うことの重要性、そして、アクションを行うために必要な知識の必要性について考えることができた。
- 1年間学んできたことを総復習することができ、自分を更に成長させることができたと思います。また、後輩の学年を見て当時自分が考えていなかった視点から話していて聞いていてすごく面白かったです。また、シビックアクションでは自分の選んだテーマと同じテーマだとしても、全く違うアクションがありとても聞いていて興味深かったです。
- 正直、全く覚えていないが、学習成果発表会では1年生と生徒会のスライドがいたるところに工夫が施されていてよかった。
- 自分が行ったアクションに、大きな反響が合ったことを、目に見えて知ることができ、また今回の反省を活かした案を今すぐにでも提案したいと思うほど、地域と協力した、とても小さなアクションでも、誰かの心を動かすことができるのだと、実感して学ぶことができた。
- 平和は戦争がないということだけでなく、みんなが平等で安心することができ、幸せでいられる世界だと学ぶことができた。また、平和の反対は暴力ということを知れたので、暴力のないみんなが協力しあえる世界になれば良いと思った。
- 自分たちで考えた新しい案を共有することで沢山の人が興味を持つきっかけとなり、解決に近づくということがわかりました。
- 私は今回、それぞれの発表のスライドがとてもうまくできていて、見ていて飽きないように工夫されていたりしてよかったと思いました。
- 学級委員のそなエリアの発表が一番印象に残りました。そなエリアでの出来事を完結にまとめていて聞きやすかったしスライドも見やすかったからです。
- 消費者と働く側でできる対策が異なっていて面白いと思った
- 知らないことを知れた
- それぞれのグループでどのような現状をみて、どのような対策を考案したのかについてよく知れた。また、学習成果発表会では、一年生の頃の思い出を振り返ることもできたし、三年生になってからどういったことをするのかについてもよく知れた。そして、みんなの発表をみて、いいなと思うところの技術は盗んで、自分の発表をより良いものにできるようにしていきたい。
- 平和の班で、難民の出身国の多くは難民の受入れ数が多い国だと知ってとても驚いた。また、難民の原因には4つの種類があるのだと知り、なにか1つを解決するだけではいけないんだと強く感じた。これから身近のところから行動をしたり、自分から情報収集をしたりしていきたい。
- 自分の班や自分の教室以外の活動を知る機会がなく、それぞれがアクション実行に向け、活動してきたことが知れてよかった。また、それぞれの班の完成度に終始驚かされていてばかりだった。自分の発表ではアクションの実行するために自分たちにはない視点からの意見をたくさんいただくことができ有意義な時間になった。
- いろんな発表を見て、正直とても楽しかったし、学びが深まった。アクションの立案から実践までどのグループもたくさん準備したんだな、と感じた。私達2年生がアクションの実行に携わるのは今回で最後だが、最初で最後の活動が本当に中身の濃いものになった。

- SDGs は達成するのは難しいと思うけど、少しずつなら達成することができると思いました。
- 特に印象に残ったのは 2100 の発表です。区の人からとても良い話を聞きました。
- 聞いたことが多かったですが行くつか知らないものがあったっていい機会になった。
- 今まで知っていたこともあったけれど、それを行動に移そうとすることで更に詳しく知ることができたから、行動に移すことの大切さに気づくことができた。
- 学年全体の総合ではそれぞれの学年どんなことをしたのか、海外派遣に行った方はアメリカのホームステイ先でどのような経験をしたのかなどがわかった。
- 私は、全然思いつかないような考えに気づける機会になりました。私は、2200 学級にいたけど小学校で起きた質問とかに答えるのを発表した班があって、そこでそんなことを思ったのかと思いました。
- ポスターを作る班では、貼る場所によって内容が違ったりどこの班も一言で伝わるように工夫がされていた。また、自分がやっていない食品ロスや平和問題についてより深く知ることができた。
- 約 1~2 年間の活動が終わり、その成果を出すことができ本当に良かったと思う。始めた時はリーダーという役割も自分に務められるか不安だったけれど、やるからには沢山の人を巻き込んで食品ロスを削減させてやろうという気持ちに変わった。難しい内容だからこそ沢山の人が取り組むことで解決に繋がっていくのではないかと学ぶことができた。
- シビックアクションをやる意味がわかった
- 地球の問題を再認識したと共に、どのようなことをすればいいかわかった
- 1. 2. 3 年生の発表を聞いて 3 年間やってきたことが思い起こされて懐かしくなった。また、僕たちができなかった移動教室や海外派遣のことが聞いてよかった。アメリカに行った人が英語で発表していてすごいとおもった。
- 今までは自分が調べているテーマのことしか知らなかったけど今日で他の問題にも詳しくなることができました。同じ問題のグループの発表を見に言ったのですが、アクションの方法が自分の班とは全然違く、「そんな考え方もあるんだな。」「いいな。」と思うと同時に理解を深めることができました。自分たちが調べきれなかったとこまで調べていて学びが増えました。
- ただ知っているだけではなく、自分たちで考えてアクションを起こすと言うのはとても難しく、展示だったり学校に発表などたくさんのアクションがあり、中学生でもこんなにも行動することができるのはすごいことだと思いました。2300 学級の後半組でライフハックという私では考えつかない視点から進めているのが一番印象に残りました
- 食品ロスは自分たちの行動や気持ちが大切だということを学んだ。そして気候変動は車や工場の煙などで、二酸化炭素が地球に影響を与えていることがわかった。
- 自分の中のフードロスへの現状と学びが深まった。
- この 1 年間で、学年ごとに学んだことや、感想を聞くことが出来て自分たちがこれから勉強することが分かって楽しそうだと思いました。どの班も原稿やスライドを意識して良くしていて聞きやすかったです。
- 自分もアクションを起こしてみようという思いが生まれた
- 日本の食品ロスの量は 523 万トンととても多いということを知ることができました。食品ロスを減らすためにすることを考えることができました。
- スライドをどう工夫すればいいのかわかった
- 平和問題、食品ロス問題、気候変動問題といったものの解決策などについて考えるときはマイエコバックをつくるような、楽しく取り組めるもののほうが協力する人が増えるのではないかと

と思いました。

- みんなが、それぞれ自分のテーマについて考え、それを人に伝えることでみんなの学びが深まることがわかった。また、六中みんな、地域みんなでアクションを起こせば、SDGsは達成できると思った。
- 今の後輩たちは多分3年生になったときには今の3年生よりもすごい人達が増えると思う。
- ポスターは文字のフォントなどの少しの工夫で見やすさや印象が大きく変わるとわかった。また、私達中学生の小さな力でもアクションの内容や伝え方によって大きな力になりうると思った。
- 賞味期限切れの商品とそうではない商品の間にパネルを配置して奥の物を取りにくくする案。
- 今回は発表する立場で、「責任性」を発表した。他の学年の発表にも学びを深めることができ、来年へ繋げられるようにしたいと思った。シビックアクションでの発表は大田区の方が来てくださり、今までグループ内で調べていた時よりも詳しく現状がしれた為良かった。
- 発表が25分間でどうやって時間をかせいだりするのか迷ったこともあったけど、同じ班の子が色々やってくれてとても助かり、見ている側の人には笑って楽しそうに聞いてくれたので良かった。動画の内容的にも少し恥じらいがあったけれど教室内はシーンとならないで少し笑ってくれた人もいたので気まずくなくとても良かった。その後には食品ロス王になろう！！という名目でクイズを行った。スライドを班の子が作ってくれて、とてもクオリティーが高かった。クイズは周りの人と相談してみんな盛り上がっていたのがとても良く達成感を感じた！！他の班の発表は少ししか見ることができなかつたけれど、みんな発表の仕方が違うから、参考にできるし食品ロスの同じ問題でも楽しく見ることができた。特に動画をとって発表している班はより面白かった。
- 僕が行った班も環境に配慮した工夫がされていてこのようなことが全国に広まれば少しずつ改善していきたいなと思った
- 世界的な問題に対しての自分の視野を広げられたとともに、実際に参加する形式のものが多かったので、楽しく考えられた。1,2,3年生の発表で、この一年をよく振り返られて、思い出が蘇ってくる、楽しい時間だった。
- アイデアを多くの人に聞いてくれるために必要なことがわかった。
- 前半に聞いた食ロスの発表が一番印象に残った。自分は給食をおかわりするなど、やってきているので今後も継続していこうと思った。
- 具体的な対策を考えることは難しく沢山の人を巻き込むのはもっと難しいと思った。
- 色々知れた。
- 自分たちのグループの発表の準備では、自分たちが1年間かけてやってきたことをどうやって短い時間に収めるかということを考えることを通して本当に伝えたいことは何か、ということを見直す時間になりました。他のグループの発表を聞くことを通して、自分たちの班では思いつかなかつたことを実行しており、非常に参考になりました。また、似たような内容の発表でも手順ややり方など、班によって工夫が見られました。
- より多くの人を巻き込み、アクションを起こしていくことが重要。まずは、一人ひとりの意識が大事。
- 自分は平和問題を調べていたので他の問題を見ると更に考えが深まってよかった。
- 一番印象に残ったのは、シビックアクション「食品ロス 大田区への提案」の発表で、提案する理由と提案内容が細かく説明された発表だったため、聞き手の自分たちも、どうにかして食品ロスの問題を改善していきたいと深く考えるきっかけになった。また、環境問題を解決して

いくためには、地域や国での大規模なアクションを起こしながら、個人での対策も怠らないことだと改めて感じた。

- シビックアクションの発表が一番印象に残った。今までアクションの計画を立てたり、準備をしてきて発表を成功させることができたので良かった。発表では、聞いている人に自分の考えを伝えようという気持ちで話すことができた。他のグループの発表を聞いて、気候変動、平和問題、食品ロスについて考えを深めることができた。
- エコバックを作る班です。気候変動の版でエコバックを作りました。要らなくなったものをつくくことでゴミが減り気候変動を解消出来ると思いました。
- 私が学んだことは、食べ物を無駄にすべきではないということ、食ロスを抑えるようにすべきだということ、食べるものがない人がたくさんいるということ、使う予定のないものを買うべきではないということ、それは無駄になってしまうので、必要のないものは買うべきではないということです。
- シビックアクションで災害の危険性や平和のことなど今日一日で災害が起きたときの対処法や、平和問題でいじめのときの対処法などを学んだ
- 考えたことを行動に移すことは難しいけれど、仲間と協力することは大切だと改めて気付かされました。
- 自分が行った発表だけでなく、様々な人から様々なことを学ばせてもらった。一年の総合の時間の集大成をシェアすることで、見てくれた沢山の人に学びを共有できたのではないかと思う。想像力豊かなアクションが将来どれほど必要とされるのか実感するとともに、今回大田区という小規模ではあるものの、経験をさせていただいたことが凄く良かったと思う。
- 私達の平和グループは質問したり問いかけたりするだけで、聞いてもらうことが大半でつまんなかったかな、って思いました。見学した特活室の班は盛り上がっていて学びも深めることができているすごかった。私達も参考にしたいと思った。
- 1年生の発表が一番印象に残った。初めての六中での生活を、「多様性」というテーマに合わせてしっかりと学習してきたのが伝わってきた。スライドのクオリティーも高く、抑揚のある声で話していて、わかりやすい上に来年に向けた期待ができる発表ですばらしかった。
- 気候変動問題、食ロス問題、平和問題それぞれにはたくさんの解決方法があり、それらを一つ一つ丁寧にしていっていったとしても、これらの問題は解決しにくいことが多い。だけど、それでもしっかりと効果はあるということがわかったので、頑張っって地域の活動などにも参加し、この問題を解決したいです。
- 中盤の 2200 学級のクイズで平和について考えよう。平和についてよく考えられていて、すごく勉強になった。平和についてすごく考えられた。
- 平和、環境、食品ロスは繋がっている。食品をロスしてしまうことで環境問題が起きてしまう。また、その環境問題から、自然災害などで難民が出てしまうことがわかった。
- これからやることがわかったのでそれに向けてこれから学習していきたいです
- 2400 学級の前半の前半のポスターが一番印象に残りました。私達がこのポスターを読んでいる間に一人亡くなっているということにはっと気付かされました。内容が結構はっきりしていて羽田空港などでは掲載するのが難しいとっていましたがこのような事実を書いたポスターが増えることで SDGs 達成に繋がるのではないかなと思いました。
- 自分では気付かなかったような問題や、解決策を他の人から知ることができて視野が広がった。
- 特活室の前半の前半の班。声量の使い方がうまく伝えたいところはバシッと言い、意欲が伝わり面白かった。

- 世界について、いろんなことを学び、また、環境問題を起こさないよう、自分ができることも学べたのではないかと思います。
- シビックアクションの発表の仕方や食品ロスについて深く知れた。
- 食品ロスや平和問題、気候変動も繋がっていると思うから、一つ一つ解決することが大切だということが分かった。
- 話し手がずっと話すだけでなく、聞き手に問いかけて話の中に引き込むことができることを学びました。
- 自分も気候変動対策のための行動を日常に取り入れてはいるが、今回発表を聞いて、もっと関心を持って積極的に行動に移して行かなければと実感させられた。
- 多くのひとを巻き込むことが大切だということを学びました
- 特活室での発表など全体を通して、来年自分がどのようにしたいかを学べた。
- 時間をかけて作戦をねって、どうしたら皆が聞いてくれるか考えられたスライドは互いに知らなかったことを共有できる上、見せ方についても学びになるのでとても有意義な時間を過ごせた。学年を超えて、保護者の方にも来ていただき、緊張感が高まる中、グループメンバーとしっかり発表を終えることができてよかった。中学生の内から環境問題食品ロスについて触れることでより危機感を持てる。それと、これから未来の社会を創る私達の中で先生とともに考えることで大人になって地球を守る一人になれるきっかけになると思った。私になれるか聞かれても自信がないですが親や兄弟、祖父母にも伝えて小さい積み上げになることを頑張りたいと思った。
- 環境問題では6通りの取り組みについてよくわかりました。わたしたちの動画チームでは、キャラクターを作ったり動画の中で呼びかけをしたり、クイズをしたり、色々な方法で動画を作り、食品ロスについて伝えることができたと思います。また、動画を見て食品ロスがこんなに深刻な問題なんだと保護者の方にも知ってもらえたので良かったです。
- 生徒会の発表ではスライドが参考になった
- 一部の人ではなく、地域の方々や小学校の方たちにも共有し、巻き込むことが大切だと学んだ。自分が興味のあることに率先して聞きに行くことでより関心が高まったと思う。
- 気候変動など、SDGsに含まれる重要な目標について深く考察できた。行動力がすごいと思ったり、みんなの行動力を学んだ。
- 今日は自分の感想を言えたから良かったです
- 私は今回の学習を通して、これからは現状を理解して、自分にあった取り組みを探し、やることが大切だと思った。
- 私は「食品ロス」で、他の平和問題とか環境問題についてわからなかったけど発表を聞き自分がどのように対策していけばいいかわかった。
- 協力が大切だとわかった。また、たくさんの人と話し合うことも大切だと思った。
- 今回のシビックアクションの学習で、仲間と協力する力、話し合う力(コミュニケーション力)、分かりやすく伝える発表の力など様々な力をつけることが出来ました。また、他のグループの発表を見て、ここが良いなと思ったところは次のことに活かしたりしたいです。
- 環境問題を解決するには人任せにせず自ら行動していくことが大切だということがわかった。
- 色々なSDGaを知れました。
- 食品ロスも、気候変動、平和も、みんなしっかりと考えて、発表していたのがすごいなと思いました。
- 協力すれば、大きなことになるんだなと思いました。

- 学年ごとの発表では3年間の活動を振り返ることができました。シビックアクションの発表では自分たちの班とは違う解決策をたくさん知ることができてよかったです。海外派遣の話では、私たちにはその機会がなかったのですが、海外に興味を持つきっかけになりました。
- 沢山の班の調べたものに目を通して、自分の班だけでなく、他にも新しい考え方を取り入れることができてよかったです。
- 社会問題に対しての気持ちが前よりも強くなった。平和問題や地球温暖化、食品ロスに対しての対策を知ることができたので自分ができるものは実行していきたいと思いました。
- 六中生全員が一つ一つの行事から多くの学びを得ようとしていていいと思った。1年生の発表は初めての大舞台であったけれど相手に伝えようという努力が見受けられてよかったですと思う。
- 一番印象に残ったのは2100学級の最後の発表です。また、今年一年間の学びを振り返ることができました。自分では出来ることは限られていますが、他人と協力して出来ることを行っていきたいと思います。
- 1・2年生の発表を聞いて、自分も同じ行事を体験していましたが、感じたことが違っていたので面白かったです。
- 代表者の発表では、この一年間で何を行って何を学んできたのか改めて振り返ることができた。シビックアクションでは、自分たちのグループだけでなく他のグループの発表も見ることができ、「食品ロス」「気候変動」「平和問題」全てで新しい発見や知識を身につける事ができた。また、それぞれのグループで様々なアクションを実行していて、一人ひとりの行動も大切だが周りとの協力して多くの人を対象としたアクションを考えることも大切だと学べた。
- 他の分野のアクションについても深く知ることができたと思います。また、今までより学びが深まった、良い経験になったと思います。
- 今この世界で取り組むべき問題についてどのように解決すべきかや、どのような問題があるか、達成しなければ未来でどのようなことが起こってしまうかなどの学びがあった。
- 特活室のクイズ大会とエコバッグ作りはとても良かったと思う。みんなが楽しみながらSDGsの問題と触れ合える最高の機会だったと思う。話し合いの機会も作ってくれてとても楽しかった。
- 一番の学びは、「六中ならでは」の学びを得て、学年の壁を超えるのが楽しかったです。
- 今まで何気なく、当たり前前に過ごしていたけれど、その裏側には様々な人の様々な苦勞があり、今後は私達が行動していく側だということを学んだ。創造性を培い、自分の行動には責任を持っていなければならない。
- 平和問題も、食品ロス問題も、気候変動問題も思っているより身近にあることがわかった。自分が貢献することはかなり難しいことだと思っていたけれど、例えば平和では戦争がないことだけが平和の基準ではないということなど。
- 考えることに加え、行動する力を養うことが必要
- 人との関わりの大切さや、人間は自己中だということ。
- 初めて知ることが多く、発見、学びがあった。前半の新旧学級委員の発表がとてもわかりやすかった。内容が必要なことを端的にまとめていたのが学びになった。スライドや発表方法も参考にしたいものが多かった。
- 食品ロスや環境問題、世界平和は沢山の人が協力すればすぐに解決できるものなのだと知った。
- 人の発表の仕方を見ながら、自分たちの発表を改善してどんどんわかりやすいものにしていくことができました。
- 世界を少しでも平和にするために自分たちにはどんな事ができるのかが今回の発表を通して

知れた。

- どのようなことをすれば問題を解決できるか具体的に例を出していたりして見ていた側も何が効果的か分かったし、学びを深められたし、現状を捉えて知ることができた。
- 他の人の発表を聞いて、問題に対する解決策やその問題によってなにが起きるのか知ることができた。特に、平和に関する本のポップを作ったグループが印象に残った。
- はじめの体育館での発表では、格が違う発表でびっくりしました。ハイライトやスライドが工夫されていてとても見やすく、わかりやすかった。
- 私は見学で平和問題のアクションを聞いて、私達の当たり前が、当たり前じゃない子達のためにできることがあることを学べた。
- 難しそうと感じたり、つまらないと思っても、実際に参加してみたり、自分らで企画を考えたり実行したりしてみると、楽しかったり案外私達でもできることだ、と思える。取り組む前に諦めるのではなく、取り組んでから諦めるか考えなくてはいけないと思った。
- 拒否されるのは、社会では当たり前。だからそういうのをされないようにすることが大切だということ。
- 発表を聞いて現状をもっと詳しく考えることができました。また、自分も周りの人と協力して気候変動や平和問題、食品ロスに貢献していきたいと思います。
- 気候変動、食ロス、平和それぞれの解決策、方法が詳しくわかった。また、身近な行動こそ一番の対策だとわかった。
- 発表の仕方やスライドなどの作り方、食ロスの現状、課題、解決点
- 地球の問題を解決するには、市区町村規模のある程度大きな団体に取り組んでいかなければならないと思っていたが、個人でも出きることはたくさんあるとわかり、早速実践しようと思った。
- シビックアクションの素晴らしさが知れた
- これから向き合っていかなければならない問題に対して私達にもできることがあるのだなと実感した。これからも問題に対して自分のできる行動を考えていきたい。
- 色々な人と意見交換することはとても大事だと思いました。知らないことを知れたり、新しい視点から見れたりすることができたからです。
- 今年度行った、菅平高原移動教室や社会科見学などの活動を振り返るとともに、来年度、再来年度には何をするかということ学べました。
- 周囲を巻き込んだ取り組みをしていくためには積極的に発信していくことが大切だと学んだ。
- 大田区の知らないことをいろいろ知ることができた。
- 特活室で行ったアクションが一番印象に残りました。なぜなら、ものづくりを行い、気候変動問題への意識を高めることができる活動は他にはなかったからです。また、地域の方々などの他の人の手をかりることで、自分ひとりにできないことも行うことができ、様々な問題を解決することに繋がることを知ることができたからです。そして、今回の活動を通して、様々な問題に関する知識を得られたとともに、自分にできる解決策についても深く考えることのできた活動だったと感じます。
- 本日全般を通して、ものすごく食品ロスのことについて考えられました。
- シビックアクションではなかなか私達の要望が通らないことが多いということがわかった。でも、その中でも自分で考えて行動を起こすことが大切だとわかった。
- 考えても、実行しないと、気候変動は解決されないのだから、実行するのがとても大事だと思った。
- 気候変動グループのことを見て自分たちにできることやエコバックを作るなど様々な学びが

あった。

- 発表したときに感想を言ってくれる人や区役所の方も来ていただけてここまで努力してきたよかったと思えた。あまり話したことのない人たちと共通の問題を解決するためにグループを組むことは緊張したが最終的にまとまった考えをみんなで発表でき、色んな人達でアクションを起こすことは可能だということを実感し、新たな学びを得られた。
- 大いに感動しました。
- 2100 学級の中半の発表が具体的、かつ実行が簡単そうで良いと思った。欲を言うなら他の班の発表をもっと見たかった。
- 自分の班で考え、実行したことを相手に伝えるのは大切なことだと学んだ。
- 普段なにげなく捨てているものでも工夫次第で再利用することができることを学べた。
- 改めて気候変動、平和、食品ロスについて考える良い機会になったと思う。自分ができる小さなことから取り組んでみようと思った。
- 全体的にクイズなどを行い、平和問題では、フェイク画像の危険性や、平和の定義を、食品ロスに関する話では、どのような対策が出来るか、ということで、手前取りやフードドライブなどがあることをしれた。
- 今回の学習成果発表会で、それぞれの学年が培ってきたものを実際に見ることとなりました。どの学年も1年で学んだことは多く、成長がよく分かる発表ばかりでした。私達3年生が参加するのは最初のみだったシビックアクションも、1・2年生だけで立派なものを創り上げていて、とても感心させられました。私達がこの3年間でどんなことを学び、習い、培ってきたのか認識できたように思います。
- 飲食店から出る燃えるゴミ回収の値上げというアイデアが最も印象に残った。飲食店から出るゴミの量は全体のゴミの量の中でも割合が大きいので値上げをすることによって、ゴミの排出に対する人々の意識が変わり、削減につながると思った。
- 3年生学級委員会の発表でやはり3年生はレベルが高いと思いました。私達1年生や2年生よりもたくさんの経験をしたり、たくさんの考え方、感じ方を知っている3年生だからこそのレベルの高い発表だったと思います。私も1年後に3年生になった時、レベルの高い発表ができるように頑張りたいと思いました。
- 環境問題を解決するためには、まず観客に現状知ってもらうことが大切だから興味関心を引けるような工夫をして、更にわかりやすい説明をすることが大切だということがわかった。クイズ形式で発表している班があって、みんな盛り上がっていて回答するのが楽しかったです。
- 「総合的な学習の時間」での発表で、自分が今までにどのようなことを学んだのかを振り返り、整理することができた。また、シビックアクションのそれぞれの班の発表を通して、自分が取り組むことができそうなそれぞれの問題に対する対策を学ぶことができた。今後は、今日の学びを生活に活かしていきたい。
- どこの発表も聞く人に「今日からやってみようかな」と思わせるような分かりやすく、そして実践可能な案を出していた。しかし、これらの取り組みは私達自身が行動していかないといけないので毎日意識しながら生活したい。
- シビックアクションで具体例がたくさんあっていくつかできることがあったのでやってみたいです。今日1日を通して何事も行動し未来につなげることが大切だと分かりました。
- 今までのシビックアクションや六中での取り組みについて見直すことができた。他学年や役所の方の考えも知ることができてとても良かった。
- 以前までシビックアクションは現実味がなかったのですが、今日の発表を見て何か世界のため

になる行動はとても難しいがみんなで力を合わせると成し遂げられるとわかりました。

- 元々知っていた環境問題の知識を使って問題を解いたり、ゲーム形式で楽しみながら新しい知識を身につけることができました。
- 全校生徒と保護者の方々、たくさんの先生方の前で発表するのはとても緊張しましたが、立派な先輩の背中を見て、来年度はそのような先輩になれたらと思います。シビックアクションの発表では、他の班の発表を見て学ぶこともありました。これからも、それらの経験を活かしていきたいです。
- 物事を様々な方面から見るということは、アクションを考えるうえでとても大切なものだと知ったと同時に難しいことなのだと感じた。「ごみを減らしたい」という考えだけに集中してしまうと、事業者への負担が考えられなくなってしまい、事業者だけに集中してしまうとアクションの効果が出なくなってしまい、私達の班が一番苦戦した部分だ。それでも、大田区の方のアドバイスを受け改善点を探したり、新しいアクションを考えてみたり最後まで粘り強く考えることができたと思う。また、アクションを考えているうちに他のSDGsに繋がった。そこで、食品ロスには食品ロスだけの問題ではなく、気候変動対策や平和問題など様々なSDGsが繋がっていて解決するには全てを変える必要があると思った。
- 自分たちの班では出なかった意見がたくさんあって、学びが深まった。